

栃木の宇都宮美術館と大谷石資料館を訪問します

残暑を吹き飛ばす驚愕の地下空間を見に行こう！

日帰り

あの帝国ホテル旧館の玄関にフランク・ロイド・ライトも使った大谷石。実は関東地方では身の回りにたくさん使われている大谷石です。旧家の蔵とまでもいかなくとも敷石や石塀、土台などに以前は頻繁に使われていました。皆さんもちょっと注意してみると見つけることができる大谷石。最近では大谷石の古い蔵や工場がその佇まいを見直されておしゃれなカフェやレストランに改装されピザ釜などにも利用されてきています。今回はその大谷石をテーマに栃木県にある美術館、蔵、教会をめぐり、また採掘場も訪問しその歴史や文化を堪能します。

大谷石

日本列島の大半がまだ海中にあった新生代(6,500万年前～)に火山が噴火して火山灰や砂礫が海中に堆積して凝固して出来た石で軽石凝灰岩と言われる物です。軽くて軟らかく加工しやすく耐火性に優れています。吸湿、消臭効果があり音響効果にも優れているといわれています。

宇都宮美術館

外壁の大谷石と繊細な石で織りなされた「和」の空間が広大な緑の公園のなかに埋もれています。今回はコレクション展と企画展として2015年にお亡くなりになった「ゲゲゲの鬼太郎」などで有名な妖怪漫画家の水木しげる展をご覧ください。



宇都宮美術館

石の蔵

65年前に建てられた大谷石の蔵を改装したレストランです。手彫りのころの石の表情、それに寄りそう木工家具や和紙の照明などの雰囲気あるインテリアの中で毎日契約農家から届く新鮮野菜など地元の食材にこだわった創作和食をコースでお楽しみいただきます。



大谷石と地元産の木材を使った空間でランチをいただく

松が峰教会

聖堂の内外壁に大谷石を使いそこに石工職人が施した様々な意匠とともに、くぐり抜けてきた歴史も感じられる現存する日本最大の大谷石の建造物です。



松が峰教会

大谷寺

天台宗のお寺で大谷石の洞窟内に作られた日本屈指の洞窟寺院です。ご本尊の千手観音は平安時代にはもう近隣の信仰を集めていたとのこと。弘法大師自ら彫ったと伝えられる国の特別史跡・重要文化財に指定されている日本最古の磨崖仏は必見です。



大谷寺

大谷石資料館

巨大地下空間施設です。先人たちが苦労して大谷石を掘り出した跡が今も残りますが、今ではその荘厳な空間がコンサートやギャラリー、結婚式にも利用されています。残暑に疲れた心身を癒してくれるそのひんやりした空間は外界とは10度近くの温度差があります。ガイドと一緒に楽しみください。

旅行日	2019年8月27日(火)・29日(木)		
旅行代金	(お一人様)	17,600円	募集人員 22名様(最少催行人員18名様)

8:30東京駅発→貸切バスにて首都高～東北道(途中休憩あり)宇都宮IC→宇都宮美術館見学→レストラン「石の蔵」にてランチ→カトリック松が峰教会見学→大谷石資料館見学→大谷寺見学→東北道宇都宮IC～首都高(途中トイレ休憩あり)→東京駅丸の内口19:00～19:30到着予定

■添乗員／同行します ■食事／昼食1回 ■集合場所／東京駅丸の内口丸ビル前
■集合時間／8:30分集合 ■交通機関／小型バス(予定運行バス会社:松竹観光同等)
※スケジュールは訪問先の都合により変更になる場合があります。